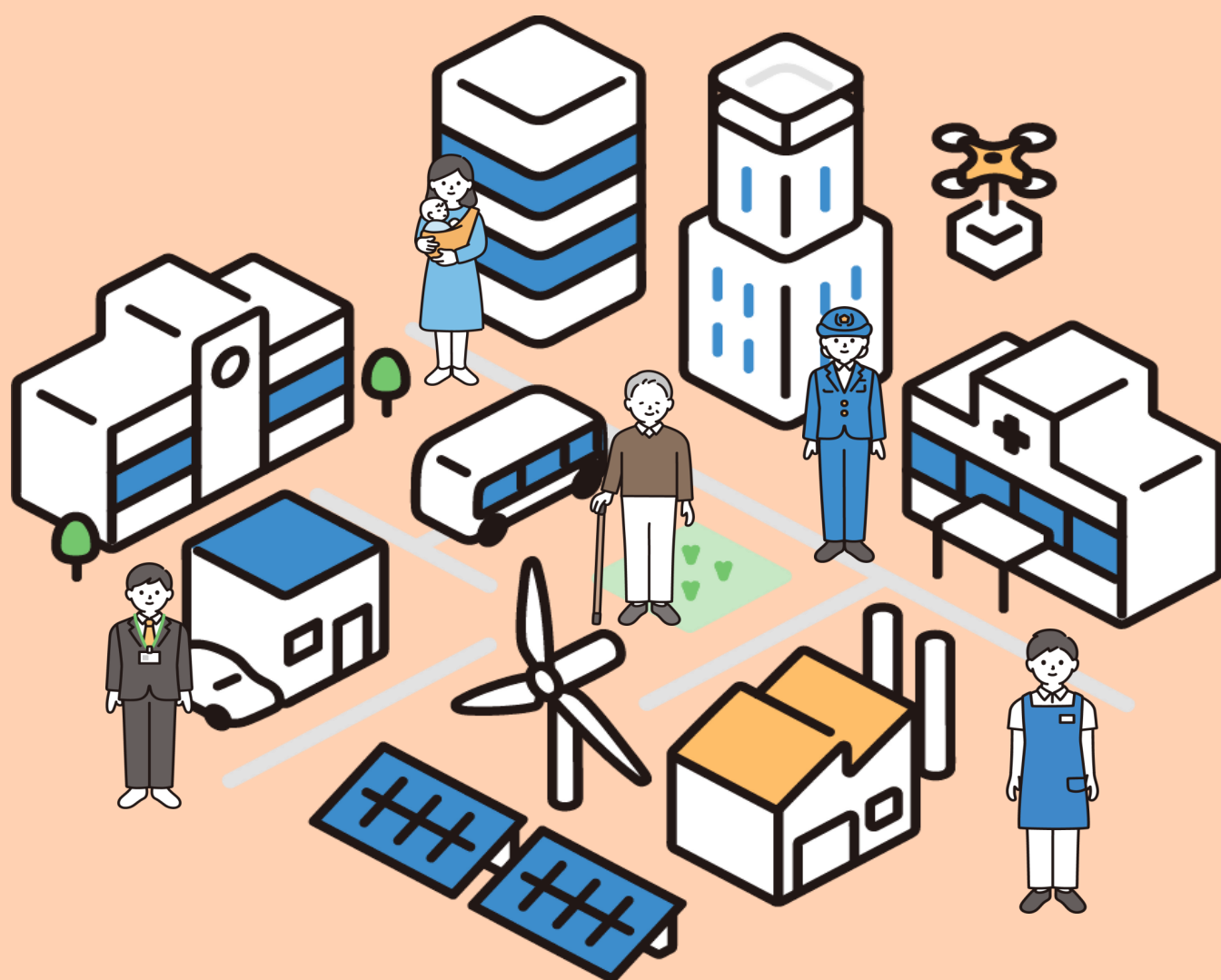


認知症行方不明者搜索訓練マニュアル

～みつけてみつける地域のつながり～



はじめに

我が国では、急速な高齢化の進展に伴い、65歳以上の認知症の人の数は増加しており、令和22(2040)年には約1,200万人(認知症約584万人、軽度認知障がい約613万人)となり、高齢者の約30.3%が認知症または軽度認知障がいになると見込まれています。

本市においても、65歳以上の認知症の人の数は増加傾向にあり、令和8(2026)年度末には14,021人、令和22年(2040)年度末には18,048人となり、高齢者全体に対する割合も上昇していくことが見込まれています。

認知症の人には、主に記憶障がいや見当識障がいなどの中核症状や妄想、うつ、歩き回る・道に迷う等の行動・心理症状があり、その中でも歩き回る・道に迷うことは脱水や熱中症、交通事故などの命の危険があります。認知症が原因で行方不明になる人は年々増加しており、令和5年(2023年)には、全国で年間約1万9000人に上り、認知症の人を家族だけで見守ることは困難な状況です。そのため、認知症が原因で行方不明になった人を、早期に発見、保護するための地域づくりが重要になります。

こうしたことから、本市では、「地域住民の認知症への理解促進」や「地域のつながり・ネットワークの強化」を図れるよう、地域住民が主体となり、地域包括支援センターや介護サービス事業者などと協力して実施する「認知症行方不明者搜索訓練」を推奨しています。

このマニュアルは、認知症に関心を持ち、認知症行方不明者搜索訓練に取り組みたいと考えている地区、または住民の方に活用していただけるよう作成しました。訓練の開催方法やスケジュールなど掲載していますのでご活用ください。

目次

- 1 認知症行方不明者搜索訓練とは……………1
- 2 認知症と行方不明……………2
- 3 どうすれば早く見つけられる？…………… 3
- 4 訓練をやってみよう！…………… 5
- 5 搜索訓練が終わったあと……………13

1 認知症行方不明者搜索訓練とは

認知症の症状によって行方不明になった方が出たと想定して、行方不明者役が地域を歩き回っている間に地域の住民や団体に情報を共有して、その情報から行方不明者役を探し出し、声をかけ、無事に保護する訓練です。

搜索訓練を行うことで、もしもの際に、地域の中で行方不明の方の搜索がスムーズに行えるだけでなく、地域の方々の認知症の理解が深まり、地域全体のネットワークが作られることに繋がります。ぜひ訓練を行ってみましょう。

搜索訓練全体イメージ図



2 認知症と行方不明



自治会長A



市役所職員B

自治会長のAさんは地域の方の認知症の症状のことで悩んでいました。



うちの地域で認知症の方がいて、知らない間に歩き回って、家に戻れないことがあり、近所の方が心配しています。認知症になるとどうして歩き回るんですか？

こんにちは！宇都宮市役所で認知症対策に取り組んでいる私がお答えします。

ただ歩き回っているように見えるかもしれませんが、**実は認知症の方本人には歩き回る理由**があります。

認知症の症状によって、**その場所がどこか分からなくなったり**、判断力が低下してしまい、**理由を上手く言葉にできず**、周りの人には理由が無く歩き回っているように見えてしまうのです。



ちなみに、認知症については、宇都宮市が作成している「**知ってあんしん 認知症ガイドブック**」を見ていただくと詳しくわかります！



理由は分かりました！もし、近所の方が認知症の症状によって行方不明になってしまったら、どのようなことに気を付けたらいいですか？

「**はやくみつけること**」、これが大切です！行方不明になってから見つかるまでの時間によって、生存率が大幅に変化します。



生存確率(桜美林大学老年学総合研究所調査)

当日	翌日	3~4日目	5日目~
82.5%	63.8%	21.4%	0%

行方不明にならないように、未然に防ぐことももちろん大切ですが、早く見つけるために皆さんでできることもあります！

3 どうすれば早く見つけれられる？



ここでは、認知症が原因で行方不明になった方を早く見つけるために大切なことをお伝えします！

◎地域のつながり

早く見つけるために大切なことは、次の2点です。

- 地域の中で普段から声を掛け合える関係性になっていること
- もし行方不明になってしまっても、地域の人たちが協力してさがすことができること

この2つを大切にしていきましょう！声を掛け合い、お互いに助け合える関係性を地域で築いていきましょう！



こんにちは！今日はどちらまで行かれるんですか？

今日はお友達と散歩に行くのよ～



うちのおばあちゃんがどこか行っちゃった！どうしよう！



探すの協力します！



3 どうすれば早く見つけれられる？



認知症の方の行方不明を未然に防いだり、早く見つけるために宇都宮市の取組を紹介します！

○ オレンジセーフティネットと認知症見守りグッズ

《オレンジセーフティネット》

認知症の方が行方不明になったとき、ご家族などからの協力依頼によって、地域の方が捜査協力をする事ができるアプリです。アプリの利用には、ご家族の方も地域の方も宇都宮市への申請が必要になります。



《認知症見守りグッズ》

見守りグッズは認知症の方に身に付けてもらい、地域の方が認知症の方にお声をかけたりすることができるように、配布しています。



【ロバマークを知っていますか？】

認知症見守りグッズのマークは、認知症サポーターの取組の全国的なシンボルである「ロバ隊長」を活用しています。

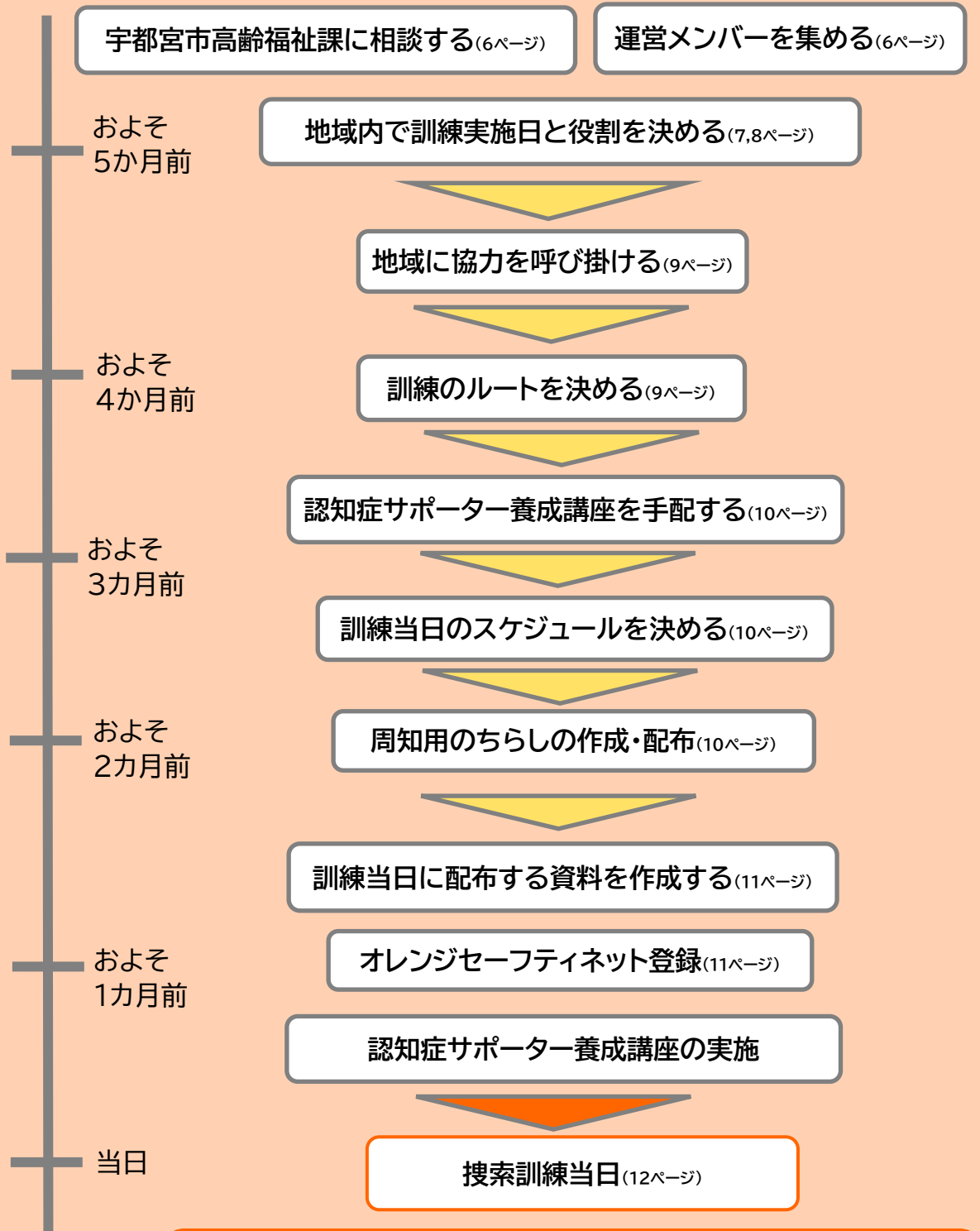
見守りグッズを身に付けている方が困っている場合は、お声掛けやサポートへの御協力をお願いいたします。

4 訓練をやってみよう！



まずは、検索訓練の全体像を把握しましょう！
詳しい内容はそれぞれのページで説明しています！！

認知症地域支援推進員



【訓練当日に必要な役割】(8ページ)
・参加者受付 ・司会進行 ・行方不明者役
・行方不明者ダミー役 ・搜索者・記録(写真等) ・意見交換会の準備

4 訓練をやってみよう！



検索訓練をやりたいです！
どういった準備が必要ですか？

《STEP1》相談する

初めて訓練を行うときは、宇都宮市高齢福祉課企画グループに相談しましょう。訓練までの具体的な手順や方法について説明や相談にのってくれます。グループ内には認知症の方やそのご家族への相談支援などを行う**認知症地域支援推進員**がおり、《STEP2》以降は**認知症地域支援推進員**が相談を受け、サポートします。

<連絡先>
宇都宮市 高齢福祉課 企画グループ
TEL 028-632-2332
FAX 028-632-3040



認知症地域支援推進員

《STEP2》運営メンバーを集める

次に訓練を一緒に行ってくれる運営メンバーを集めましょう。おすすめは、**自治会**や**第2層協議体**、地域包括支援センターに声をかけ、地域の行事として訓練を行うことですが、地域で取り組みやすい形態で実施するとよいでしょう。訓練当日までにやらないといけなことがいくつかあるので、5人程度メンバーを集めるとよいでしょう。

また、認知症地域支援推進員も声掛けに協力しますので、《STEP1》の相談の際に「自治会や第2層協議体で行いたい」などの意向をお伝えください。



検索訓練やりませんか？



ぜひやりましょう





～認知症パートナーが協力します！～

運営メンバーとして、認知症パートナーが協力します！依頼は宇都宮市の認知症地域支援推進員が行います。

認知症パートナーは、宇都宮市が開催する認知症パートナー養成講座を受講し、認知症を正しく理解し、認知症の方に寄り添うパートナーとして活動しており、訓練の際に、認知症の方との接し方のアドバイスをしたり、行方不明者役になる等の協力をします。

《STEP3》地域内で日程と役割を決める

訓練を行う日までに準備しないといけないことがいくつかあります。大まかなスケジュールやそれぞれの部分で中心となる人を決めましょう。

5ページの全体像を参考に、スケジュールと中心となる人を決めるとよいでしょう。

【日程・役割決めの注意点】

- ・ 雨天時は施設内で行うなど、事前に決めておく。
- ・ 気温が高い時期は開催を避けるか、十分に熱中症対策を行う。
- ・ 行方不明者役の方が決まったら、より現実的な想定とするため、個別で打合せをするとよい。
- ・ 行方不明者役の方は声を掛けられたときの対応など事前に決めておく。
- ・ 行方不明者のダミー役を複数人用意すると、声掛け訓練がしやすい。

◎スケジュール表

日 付	内 容	チェック
例：○月×日 (△)	▲さんを中心にチラシを配布する。	✓
月 日()		
月 日()		
月 日()		
月 日()		
月 日()		

【役割の例】

- 訓練開催までの準備
 - ・ 地域への呼びかけ担当
 - ・ 認知症サポーター養成講座の手配担当
 - ・ お知らせのプリント作成・配布担当
 - ・ 当日配布プリント作成担当
- 訓練当日
 - ・ 受付担当
 - ・ 司会進行担当
 - ・ 行方不明者役
 - ・ 行方不明者ダミー役
 - ・ 搜索者
 - ・ 記録(写真など)担当
 - ・ 意見交換会の準備担当



私は、ちらしの作成と配布をやります！



私は、地域に協力を呼びかけます！

◎担当表

役割	担当者
地域への呼びかけ担当	
認知症サポーター養成講座の手配担当	
お知らせプリント作成・配布担当	
当日配布プリント作成担当	
訓練当日の受付担当	
訓練当日の司会進行担当	
訓練当日の行方不明者役	
訓練当日の行方不明者ダミー役	
訓練当日の搜索者	
訓練当日の記録担当	
意見交換会の準備担当	

4 訓練をやってみよう！



準備することが分かってきたら、実際に動き出してみましょ
う！認知症地域支援推進員がサポートしますので、安心して行
動してください！

《STEP4》地域に協力を呼び掛ける

認知症の方が行方不明になった場合に、立ち寄りやすいお店や搜索
に協力してくれる団体などには、事前に呼び掛けて、訓練に協力を
いただけるようお願いをしましょう。地域の多くの人に認知症につい
て正しく理解してもらい、地域全体で支えていくことの大切さを意識
してもらいましょう。

初めての訓練の開催でどこに呼びかけるか分からない場合は、
認知症地域支援推進員に相談できます。

【呼びかけ先の例】

- ・交番 ・介護サービス事業所 ・障がい者サービス事業所 ・交通事業者
- ・地域の個人商店 ・医療機関, 薬局 ・消防団
- ・スーパーマーケット, コンビニエンスストア ・郵便局, 銀行
- ・飲食店 ・ドラッグストア ・新聞店

《STEP5》訓練のルートを決める

搜索訓練模擬当日の行方不明者役が動くルートを決めましょう。

《STEP4》で呼びかけをし、協力してくれるお店や団体
などがあつたら、それらの場所に合わせてルートを決め
ましょう。

ルートの決め方には、これらのことに注意するとよい
でしょう。

実際に地図を見なが
ら、ルートを決めると
搜索のイメージが湧き
やすいです。

【ルート決めの注意点】

- ・搜索範囲を広げすぎない
- ・ゆっくり歩いて30分ぐらいで回れる
- ・およそ1km
- ・交通量の少ない道を選ぶ(安全面が安心)
- ・公園など安全に待機ができる場所がある



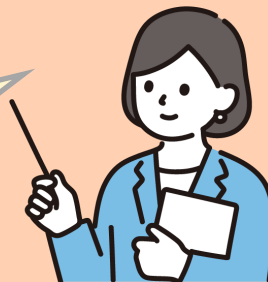
《STEP6》認知症サポーター養成講座の手配・受講をする

認知症の症状などについて正しく理解することで捜索の手助けとなりますので、訓練開始までに講座の手配をし、訓練の運営者や参加者で受講しましょう。所要時間は基本約90分ですが、当日の訓練のスケジュールに合わせて変更することもできます。

認知症サポーター養成講座の申し込みは、宇都宮市高齢福祉課 (TEL 632-2332)へ御連絡ください。

認知症サポーター養成講座は、

- ・認知症サポーターの役割
- ・認知症の人と共に生きるために理解すること
- ・認知症の症状や行動 等が学べる講座です！



《STEP7》当日のスケジュールを決めて地域に開催のお知らせをする

訓練当日のスケジュールを決めましょう。スケジュールが決まったら、地域へお知らせするチラシを作り、配布しましょう。

【スケジュールの一例】

- 13:00 集合・受付
- 13:10 挨拶
- 13:15 認知症サポーター養成講座受講
- 14:45 オレンジセーフティネットの説明
- 15:00 訓練開始
- 16:00 訓練終了
- 16:05 意見交換会(反省会)
- 16:35 おわりの挨拶
- 16:40 終了

【地域にお知らせする内容】

- 開催日時
- 開催場所
- 開催の目的
- 当日のスケジュール

第〇回 〇〇地区
**認知症行方不明者
捜索訓練**

「地域住民の認知症への理解促進」や「地域のつながりの強化」を図ることを目的とし、地域で行方不明者が出たと想定して、地域住民や団体が捜索をする訓練です。

日時 2025 〇/〇(〇)
〇:〇〇~〇:〇〇
※雨天決行

場所 〇〇町〇〇-〇〇

当日の流れ

〇:〇〇 受付	〇:〇〇 捜索開始	〇:〇〇 終了
〇:〇〇 主催者挨拶	〇:〇〇 捜索終了	
〇:〇〇 声かけ練習	〇:〇〇 振り返り	

参加希望の方は電話または FAX にてお申込ください

氏名

連絡先

【お問い合わせ・申込先】
主催 〇〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇



▲こちらからチラシのひな型をダウンロードできます。

チラシについては、宇都宮市で作成したひな形をホームページで公開しています。ダウンロードして積極的に御活用ください。

《STEP8》訓練当日に配布する資料を作成する 訓練当日に参加者に配る資料を作成しましょう。

【当日の配布資料の例】

- ・ 当日のスケジュール
- ・ 訓練の趣旨・目的
- ・ 声かけのポイント
- ・ 訓練の際の注意事項
- ・ 検索ルート図
- ・ アンケート
- ・ 連絡先(発見時, ほか不測の事態発生時)



《STEP9》オレンジセーフティネット登録

オレンジセーフティネットを使用するには、宇都宮市への申請・登録が必要です。事前にオレンジセーフティネットの申請・登録を行いましょう。(登録には1週間ほど掛かります。)

必要に応じて宇都宮市高齢福祉課の職員が出向き、その場で申請書の記入・登録作業を行うこともできます。

参加者全員が事前に集まることが難しい場合は、自治会の役員など、代表者数名の方を登録してもよいでしょう。

スマートフォンの操作が心配な場合は、宇都宮市の「宮デジサポーター」(スマートフォンの使い方を教える地域のボランティア)を呼ぶこともできます。

【オレンジセーフティネットを活用した訓練】

行方不明者の写真や身長、体重、よく行く場所など、事前に登録してある情報をもとに検索することができ、発見しやすくなるツールです。

活用の流れは①～④のとおりとなっています。

- ① 始まる前に行方不明者役の方の写真を撮り、オレンジセーフティネットに登録する
- ② 訓練が始まったら、①で登録した方から検索依頼を発報
- ③ 訓練に参加している人は協力者として、オレンジセーフティネットで写真を確認したり、検索者の現在地共有を活用する
- ④ グループチャットを使い、依頼者や検索者同士の情報共有を行う。



《STEP10》開催する

事前に決めたスケジュールと役割にそって進めていきましょう。



いよいよ、これから訓練ですね！探すことも、難しそうですが、声掛けに不安があります。
声掛けの際のポイントや見つける際のポイントがあったら知りたいです！



認知症の方を保護するときの声掛けでは、3つの「ない」を意識しましょう。

①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

そして、ゆっくりと笑顔で、相手のペースに合わせることも大切です！

訓練当日は、参加者の声掛け訓練ができるよう、別枠で声掛けの時間を設けたり、最終的に行方不明者役を発見できるように、あらかじめ計画しておくといよいでしょう。

地域ごとに**特有の場所等**があったりするので、この際、地図等であらかじめ確認しておきましょう。

また、認知症の方の気持ちを理解することも大切です。
認知症による行方不明になる理由を想像し、本人の気持ちを尊重して共感しましょう。

～本人の気持ちを理解しよう！～

本人の気持ちを尊重して、日頃の対応に気を付けましょう。

本人の気持ち

不安・緊張

興奮

空腹

排泄

痛み

不快

静かな場所でゆっくり話を聞く。
落ち着ける環境を作る。

トイレへ案内したり、
軽食を勧める。

本人に寄り添い、体を
さするなど、痛みや不快の緩和などを図る。



5 搜索訓練が終わったあと



無事、搜索模擬訓練が終わりました！
今回学んだことをみんなで共有したいです。
なにかいい方法はないですか？



そんな時は、意見交換会を行いましょ。う。
おすすめは訓練が終わったすぐあとに行うことです。
時間は1時間程度確保できるとよいでしょう。

訓練が終わったら、できるだけすぐに(可能であれば訓練終了後、当日中)意見交換会を行いましょ。う。

参加者の感想を聞くだけでなく、地域の交流会とすることで、地域のネットワークが広がるかもしれません。

そして、意見交換会で出た意見は、次回の訓練に活かしていきましょ。う。継続的に訓練を行うことで、地域の見守り体制の強化に繋がります。



訓練に参加してみて、認知症の方が
どんな気持ちで歩いているのかを想像
してみるいい機会になりました！

実際に地域で訓練の様な状況になっ
たときに、この経験が生きてくると思
います。地域のネットワークづくりに繋が
ると感じました。



このほかに、「**どういう地域を目指したいか**」、「**いま足りていないことは何か**」を話し合い、次の訓練の際に活かしていくと、地域の力がどんどんパワーアップしていきます！

ステップアップ

～若年性認知症の方など

広範囲を移動する方を想定した訓練の実践！～

訓練に慣れてきたら、ステップアップとして若年性認知症の方など広範囲を移動する方を想定し、他地区と合同での訓練も検討してみましょう。

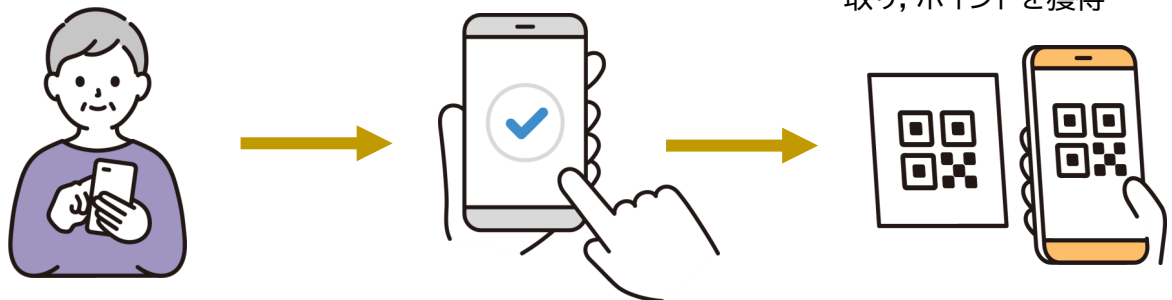
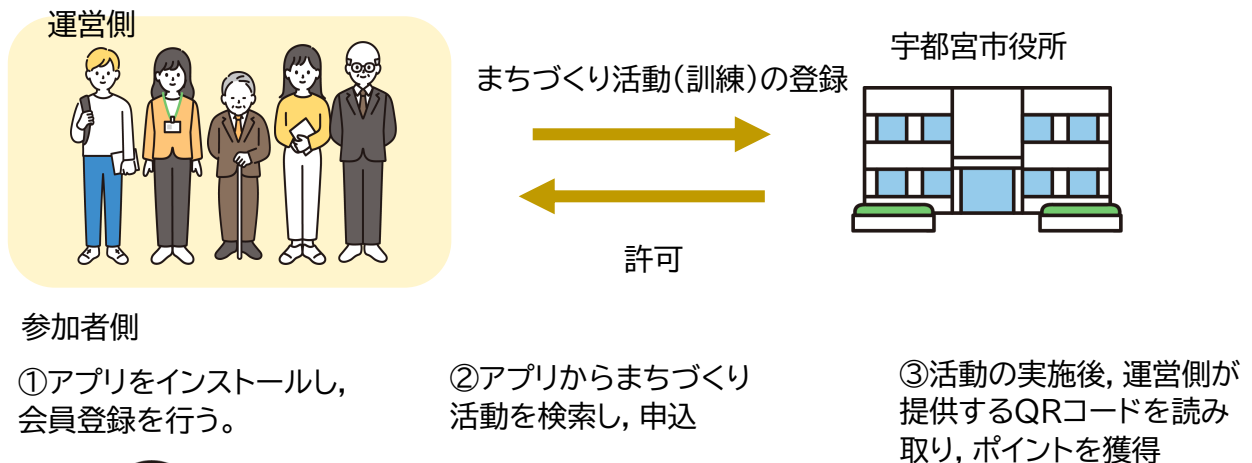
65歳未満で認知症を発症した場合、「若年性認知症」となります。特に若年性認知症の方は、高齢の方に比べ広範囲な移動ができたり、認知症の方と判断するのが難しく声掛けがしづらい状況にあります。

こういった難しい点ではありますが、ぜひ挑戦してみましょう。

宇都宮市まちづくり活動応援事業を活用してみよう！

みんなでまちづくり課にて宇都宮市まちづくり活動応援事業を行っています！

運営側にとっては、自分の活動を知ってもらう機会になり、参加者側にとっても、自分の参加したい活動を簡単に探し申し込みを行え、参加したポイントをためることによって素敵な商品と交換することができます。訓練も宇都宮市まちづくり活動応援事業の対象になりますので、積極的に活用しましょう！



ポイントを貯めて、図書カードやクオカードなどと交換ができます！

活用する場合は、事前に登録が必要です。登録後、審査に一定の時間を要するため(1週間程度)、訓練までに余裕を持って登録するとよいでしょう。



【作成】

宇都宮市地域包括ケア推進会議

〈構成団体〉

宇都宮市医師会

栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会

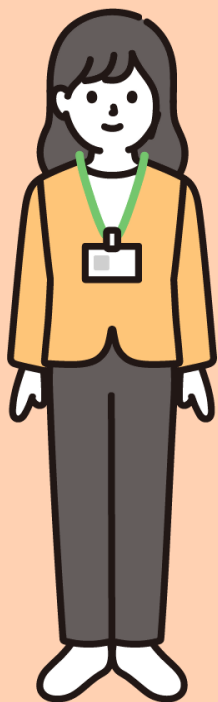
宇都宮市自治会連合会

認知症の人と家族の会栃木県支部

【発行】

宇都宮市高齢福祉課

令和8年3月



「訓練を試してみたいけど不安」、「開催する前に他の場所で開催している様子を見たい」等、訓練に関する相談がありましたら、**宇都宮市高齢福祉課企画グループ**に連絡してください！

宇都宮市高齢福祉課企画グループ

TEL 028-632-2332

FAX 028-632-3040